

近畿中央呼吸器センターに受診されている患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在近畿中央呼吸器センターでは、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

肺癌完全切除術が実施された患者における肺癌の術前 PET-CT 検査における SUVmax 値と術後再発の関連評価に関する単施設後ろ向き観察研究

●研究の目的と意義

わが国における肺癌患者の部位別癌死亡数は第 1 位であり、その治療の向上が求められています。近年は手術だけでなく、手術前あるいは後に抗癌剤や免疫療法を加えることで、肺癌の治療成績が向上しています。しかし、現時点ではどの患者さんに対して、どの治療法の選択が有効なのか、完全には明らかになっていません。術前に肺癌の術後再発リスクを評価・把握することは、再発予防に対する治療の必要性や治療強度の決定につながると考えます。私達は、術後再発リスクの評価として、術前 PET-CT 検査における SUVmax 値が有用ではないかと考えています。悪性度の高い癌であるほど高い SUVmax 値を示し、高い SUVmax 値は、肺癌術後の再発に関連する可能性が指摘されていますが詳細はわかりません。私達は、肺癌の術前 PET-CT 検査における SUVmax 値と術後再発との関連性を明らかにすることを目的とした研究の実施を計画しています。この関連性の検証によって、肺癌術後再発リスクの高い患者さんを術前から評価・選別することができる可能性があり、肺癌手術を受けられる患者さんの術前・術後治療選択にとって有益な情報になると考えています。

●対象となる患者様

2017 年 4 月から 2022 年 12 月の間、当院で肺癌切除手術を受けられた患者さん。

●使用させていただく診療データ

性別、年齢、喫煙、血液検査結果、Stage、術式、組織型、癌組織の遺伝子変異、術後補助化学療法実施の有無、術前 PET-CT 検査における SUVmax 値、手術後の診療経過、再発確定日、死亡日などのデータ

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報から、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を完全に削除します。情報は研究代表者と特定の共同研究者のみが共有します。また、研究成果は学会・学術雑誌で発表されますが、その際、患者さんを直接特定できる個人情報は一切使用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

●問い合わせ先

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 呼吸器外科

井口 貴文

住所：大阪府堺市北区長曾根町 1180 電話：072-252-3021（代表）